

経営上の
問題点

1位「仕入単価、下請単価の上昇」50.0% (前期比+9.7ポイント)、2位「人件費の増加」35.0% (同+0.7ポイント)、3位「人件費以外の経費の増加」33.6% (同+2.7ポイント)、4位「従業員の確保難」26.5% (同+0.9ポイント)、5位「購買ニーズの変化への対応」12.3% (同▲2.4ポイント)、6位「需要の停滞」11.0% (同+0.2ポイント)と上位6位までは前回順位と同じ。7位は同率で「販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難」10.5% (同+1.3ポイント)と「金利負担の増加」10.5% (同+0.8ポイント)でそれぞれ前回順位9位と8位から上昇した。9位「新規参入者の進出や同業者の増加」8.5% (同▲2.1ポイント)、10位「店舗・倉庫の狭隘・老朽化」5.8% (同▲3.4ポイント)はそれぞれ前回順位7位と9位から下降した。

順位	項目	回答数	回答率	前回順位	順位	項目	回答数	回答率	前回順位
1	仕入単価、下請単価の上昇	223	50.0%	— 1	11	事業資金の借入難	25	5.6%	↑ 13
2	人件費の増加	156	35.0%	— 2	12	生産設備の不足・老朽化	19	4.3%	— 12
3	人件費以外の経費の増加	150	33.6%	— 3	13	取引条件の悪化	15	3.4%	↑ 18
4	従業員の確保難	118	26.5%	— 4	14	大企業(大型店)進出による競争激化	13	2.9%	↓ 11
5	購買ニーズの変化への対応	55	12.3%	— 5	15	在庫の不足	11	2.5%	↓ 14
6	需要の停滞	49	11.0%	— 6	16	在庫の過剰	8	1.8%	↓ 15
7	販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難	47	10.5%	↑ 9	17	代金回収の悪化	7	1.6%	↓ 16
7	金利負担の増加	47	10.5%	↑ 8	18	購買力の他地域への流出	6	1.3%	↓ 16
9	新規参入者の進出や同業者の増加	38	8.5%	↓ 7	19	生産設備の過剰	1	0.2%	— 19
10	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	26	5.8%	↓ 9					

※複数回答(3つまで選択)のため、回答率の合計は100%を超える。

事業者の声

仕入単価、下請単価の上昇

円安が長期化し主要製品の仕入が高騰している。



人件費以外の経費の増加

米国のイラン攻撃による中東地域の政情不安によりガソリン価格の上昇が予想され、その他の物価高も懸念される。



購買ニーズの変化への対応

生徒減少による購買ニーズの変化が背景。売上増加に向けて営業活動に注力している。



需要の停滞

今期は受注の動きが全体的に鈍く、需要の停滞を感じる。



第95回調査実施概要

- 1.調査時期：2026年3月16日～4月9日
- 2.対象期間：2026年1月～2026年3月期、および2026年4月～2026年6月期見通し
- 3.調査対象：支部会員中小企業(約3,591社) ①製造業・建設業・運輸業・その他の業種(②～④を除く)…資本金3億円以下、または従業員300人以下 ②卸売業…資本金1億円以下、または従業員100人以下 ③小売業…資本金5千万円以下、または従業員50人以下 ④サービス業…資本金5千万円以下、または従業員100人以下
- 4.調査方法：調査票郵送～郵送・FAX・インターネットにて回収。区内金融機関に協力依頼。
- 5.回収状況：合計446社(回収率=12.4%) 製造業…44社・不動産業…45社・小売業(飲食業含む)…92社・建設業…100社・卸売業…51社・サービス業…114社 ※数値については小数点第2位を四捨五入しており、計算値が一致しない場合がある。

お問合せ 東京商工会議所世田谷支部 TEL：03-3413-1461